

事業所における 自己評価結果（公表）

公表：令和 5 年 10 月 1 日

事業所名 コベルプラスふれあいキッズみのわ教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0		
	②	職員の配置数は適切である	5	0	※運動療育時、職員人数を調整しながら危険のないように行っている。	※声の掛け合いをしながら今後も危険のない立ち位置など気を付けていく。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	0	※刺激が少ない空間作りをしている。装飾やレイアウトの仕方も配慮している。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	※毎日の清掃や消毒は欠かさず行っている。 ・療育後消毒や換気を行っている。	※構造上厳しい事もあるが、引き続き喚起や消毒など衛生面でも十分な配慮をしていく。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	1	※職員会や、文面報告や連絡などツールを使いながら密に連絡を取っていきたい。	※時間を有効に使い共通認識を持つ。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0		※意見は真摯に改善に取り組んでいきたい。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1	※保護者向け評価を外部評価とするなら出来ている。	※保護者向け評価が、該当外ならば改善していく。

適切な支援の提供	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	※年間計画が予定として入っている。	※質の高い研修参加を積極的に参加していく。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	1	※決められたアセスメントツールをもとに個別支援も行っている。	※必要に応じて使用している。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0		

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1		※基本は決まっているが、活動により、立案している。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	0		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1	※朝礼や職員会、報告など連絡ツールを使って行っている。	※活動後すぐには厳しいが、その日や職員会、朝礼、その都度振り返りが行える体制は続けていきたい。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0		

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0		
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	0		
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	1	※該当児なし。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		2	※該当児なし	
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	1	※就学に向けての支援会議が該当するなら参加している。 ※移行支援より継続支援として行っている。	
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	1	※移行支援より継続支援として行っている。	
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0		
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	3	※保育所の見学や利用児のいる園児との交流を行っている。 ※送迎時少しだが、関わりを持てる機会がある。	※保護者の承諾を得て行える機会を設けている。今後多くの参加の機会を持ちたい。

	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	4	※積極的ではない。管理者が参加し報告を受けている。	※内容により参加予定。
--	---	---	---	---	---------------------------	-------------

	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0		
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	3	1	※コロナ過で活動が難しかった。	※コロナ過も落ち着いてきた為今後行う予定である。
	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0		
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0		
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	※フィードバック中に相談を受けている。	※今後も相談を受けてもらえるような、職員資質の向上を目指したい。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4	※コロナ過で活動が難しかった。	※コロナ過も落ち着いてきた為今後行う予定である。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0		
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	※法人を含めた広報作りに参画している。	※年4回の広報
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0	※職員の意識の向上に努めている。	※今後も注意喚起や取り扱いには充分配慮していく。
	③⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0		
	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2	※イベント時に年2回ほど交流している。	※イベントの事案が該当しない場合は、改めて機会を作りたい。
非常時等	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	0		

の 対 応	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出 その他必要な訓練を行っている	5	0		
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこ どもの状況を確認している	4	1	※共有できる体制 を整えている。 ※保護者から願 いをされた時に伝 達し状況把握して いる。	※新規の利用児が多くなって きているので、今一度全体の 周知後の確認を取っていく。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指 示書に基づく対応がされている			・イベント時おやつ についての確認は 行っている。	・指示書付きの該当児なし。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有し ている	5	0	※ヒヤリハットの段 階で、危険な場所 姿の対処の検討を している。	※今後も気を付けていく。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保す る等、適切な対応をしている	5	0		
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うか について、組織的に決定し、子どもや保護者に事 前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達 支援計画に記載している	5	0	※重要事項として 説明をし、身体拘 束の必要がある場 合は個別支援計 画に記載をする。	※契約時に重要事項とし て、説明・同意はされている が、やむを得ない場合や組織 的に決定がされる場合は、十 分に説明と了承を得たうえで 行っていくと同時に支援計画 に記載をする。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。